

請 願 番 号	請願第6号
件 名	小中学校の給食費無償化を求める請願
受 理 年 月 日	令和4年9月2日
紹 介 議 員	井深正美、森下満寿美、堀田信夫、松原徳和、服部勝弘、 田中成佳、高橋和江、原 菜穂子
付 託 委 員 会	文教委員会
<p>(請 願 要 旨)</p> <p>学校給食は、健康で文化的な生活を送り、望ましい食生活の基礎、基本を養い、感謝の心や伝統的な食文化の理解を深める大切な機会である。</p> <p>2005年に制定された食育基本法では、「食育を、生きる上での基本であって、知育、徳育及び体育の基礎となるべきもの」と位置づけており、教育の一環としても重要な役割を果たしている。</p> <p>加えて、子どもたちの給食への期待感や、みんなと一緒に食べる楽しさは、かけがえのないものであり、成長期にある子どもたちの健全な成長に大きな影響がある。</p> <p>しかし、昨今のコロナ禍で生活苦を抱えている人も多い上、物価の値上がりラッシュが続き、1人につき小学校で月4,500円、中学校で月5,380円の給食費は、保護者にとって大きな負担となっている。</p> <p>岐阜市の食材費も最近の物価高騰の影響を受け値上がりしているが、これについて、今年7月から来年3月までは岐阜市が負担し、保護者負担を増やしていないことは評価される。しかし、学校給食が唯一のまともな食事という子どもたちが見受けられる中、さらなる取組が必要である。</p> <p>憲法では、義務教育は無償とするとされており、全国でも学校給食費無償化への取組が進んでいる。岐阜県内では岐南町、揖斐川町、垂井町で既に無償化が実施され、山県市では、今年2学期から実施されることが決まっており、羽島市では、物価高を理由に8月から12月まで実施されるなど、続々と進められている。また、他の10市町村では、半額補助や助成が実施されている。</p> <p>そのような事情を踏まえ、岐阜市独自のさらなる対応を求め、下記事項について請願する。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 全ての子どもが給食費の心配なく平等で良質な給食を食べられるように、早急に全小中学校の給食費無償化を行うこと。</p>	
審 議 結 果	令和4年9月27日(火) 不採択